

日本ボーイスカウト東京第四団機関紙

March 15, 1961

第59号

季刊

No.59

発行人 田中正男

編集人 杉原正

発行所 日本ボーイスカウト東京第四団

# イマイル

私たち聖南坂教会のスカウトは魚のマークをデザインしたネツカナイフをしている。これは一体どんな意味があるのだろうか。

キリスト教がイエス・キリストの福音によつて盛んになつたのは西暦三千年より後のことであつたが、しかし最初キリスト教をきらうローマ帝国の人々によつていじめられ、今日のように公然と礼拝をすることは



出来なかつた。ぞ

ここでクリスマンたちはひそかに礼拝をするために当然死んだ人の遺骸を納めることにしていた地下道の中に集まつて来たりした。また町でもキリスト教を信じていることを話すことが出来なかつたので自分がクリスマンであることを示すためにしるしを定めた。

## 魚はキリスト教

のしるし

岸本和世

その礼拝の場の場所が今日も残っているが、そこには魚の形がほりつけてあり、人々もひそかにそのしるしをつけていた。魚がなぜ用いられたのか、それはイエス・キリストがパンと魚で多くの人々を養つたからであり、また弟子たちが人を養つてゐる者となれと教えられたからである。しかし、それ以上に大切な理由は、魚ということは当時用いられていたギリシヤ語で「イクスウス」と云い、「イエス」はイエス、「クル」は

クリストゥス（キリスト）、「ス」は「セウ」の神、「ウ」は「フィオス（子）」、「ス」は「ソートレル」（救主）という五つのことばの頭文字から成つてゐるからである。すなわち、「イエス・キリストは神の子、救い主」ということをあらわすものとして魚の形が用いられたのである。イエス様が私たちの救い主

# 「スマイル」によせて

—スカウトは快活である—

飯田貞雄

知っている人もあるかと思ひますが、機関紙の題「スマイル」"Smile"は英語で、意味は微笑のことなので

す。  
この微笑についてボーイスカウトの父ベドデンポウエル卿は次のように書いています。

「笑いが不足していることは健康が不足していることと同じことである。できるだけ多く笑ってごらん、そうすれば体が丈夫になる。」

おかしくなつたら、いつでも笑いつづけ、できたら他の人たちまで笑わせる。そうすれば、その人たちも幸福になる。

もし、苦しいことがあつたり、つらいことがあつたら、そのことにむかつて、にっこり笑え。このことを忘れず、無理にでも笑っているうちに気分がよくなることに気づくだろう。

これを読んでいるうちに何だかうれしくなつてきませんか。私たちがスカウトにとつて何と勇気づけられることばでしょう。

日本では、「笑う門には福きたる」とか「笑いは百薬の長」のようはことわざがいろいろ伝えられています。このように笑うといふことが昔から人間の生活にたいへん楽しくさせてく

れていることに気づきます。笑いは神祕から人間にだけ与えられた、すばらしい贈物なのかもしれませぬ。

「スカウトは快活である」とおきての8にありますが、笑いは快活になるひとつの原動力だと思ひます。英國のスカウトのおきてをみとみると、いっそうその意味がはつきりわかります。

それは「スカウトは、すべての困難に際して微笑をうかべ、口笛を小

★「はのです」といふことを表わす魚の形を私たちはスカウトのマークとして持つてる。魚のマークがこうした意味をもっている事を知っている人は、私たちが教会のスカウトであることなちまんと見ゆる。マークに恥かしくないスカウトになりたいものである。

(団委員長 望南夜教会伝道師)

く」といふおきてです。

ただ、ここで書えなければならぬいことがあります。

いつもニヤニヤして活発のよい人ぐずぐずやちねちねしている人、いつでもふざけている人をみかけるといふことです。こつこつのは決して快活であるとはいへませぬ。

本当の快活といふのは、どんなつまらぬことがあつても、にっこり笑つて自分を元気づけることなので

(少年隊長)

八月十四日(年) キャンプ 於埼玉向久原  
〃 二十九日(四) キャンプファイヤーガールスカウト共催 於氷川公園

十月十一日(長) オーパーナイトハイク 於高尾山  
昭和三十四年

一月十一日(四) 新春パレード 於池袋

〃 三十一日(長) キャンプ 於教会

二月二日(六日)(長) スキー訓練 於妙高高原

二月七日(四) スカウト週間 日米文藝会 於ワシントンハイツ

三月二十日(長) オーパーナイトハイク

〃 (長) シースカウト四国より分離 才五三回となる

四月十日(年長) 皇太子御成婚式奉仕 於国立競技場

四月十九日(四) 合同バスピクニック ガールスカウト共催 於国聯基督教大學

五月五日(四) 山手地区ラリー 於日体大グラウンド

五月二十三日(四)(年) キャンプ 於国際基督教大學

五月三十一日(長) オーパーナイトサイクリング 於鎌倉

六月二十日(年) オーパーナイトハイク 於 和田峠

〃 二十八日(少) 五周年記念式典祝会 於教会

七月四日(四) 才十回世界ジャンボリー 日本派遣団代表に四回より安藤 小林 加藤 木下 柳が選ばれ壮行会 於教会

七月十八日(二十六日) 才十回世界ジャンボリー 於マツキリン国立公園

ファイリッピン

七月二十五日(十八日)(少) キャンプ 於箱根中野野

八月六日(十日)(年)(長) 才二回 日本ジャンボリー 於霞ヶ野

八月十八日(十九日)(年) キャンプ 於教会

〃 十九日(四) 合同 キャンプファイヤー ガールスカウト共催 於教会

九月二十六日(長) 年長隊結成式 於教会

十月一(八日)(年長) 基督教宣教師百坪大会奉仕 於都立首館 青山学院

十一月三日(少) ピクニック 於三栄園

(年) ハイキング 於鎌倉

十一月三十一日(四) 映画会 於赤坂公会堂  
昭和三十五年

一月一日(四) 新春パレード 於錦糸公園

一月 (長) スキー訓練 於地ノ平

二月三十日(四) 日米文藝会 於ワシントンハイツ

〃 三十一日(四) 十三周年祝会 於教会

三月十九日(四) 父兄総会 於教会

〃 二十日(長) オーパーナイトハイク 於奥多摩

五月三日(四) 合同バスピクニック 於武蔵野郷土館

六月十八日(少) 六周年祝会 於教会

七月二日(四) ショー ジャンボリー 日本派遣団代表 今田隊長 日下部送ばれ壮行会 於教会

〃 三十一日(十八日) シュビッ ジャンボリー 於コロラドスプリングス、米國

〃 二十六(三十日)(長) 富士野営参加 於山中野営場

八月九(十三日)(年) キャンプ 於山中野営場

〃 十(十三日)(少) 〃 於富士見高原

〃 二十三日(長) 〃 於八ヶ岳湖ノ口牧場

十月一日(四) 合同 キャンプファイヤー ガールスカウト共催 於教会

〃 二日(四) 大東京祭り 於築地本願寺

十一月三十日(四) 山手地区ラリー 於神宮内苑

十二月十七日(長) 一周年記念オーパーナイトハイク 於多摩丘陵

昭和三十六年

一月八日(四) 新春パレード 於物産公会堂

二月二十五日(年) 十四周年祝会 於教会

# スカウトの歩み (昭和三十一年一月 - 昭和三十六年二月)

昭和三十一年

- 一月二日 (年長) 皇居参拝奉仕 於皇居前広場
- 〃 八日 (団) 新春パレード 於銀座日本橋日比谷
- 二月二十二日 (年) 九周年祝会 於教会
- 三月三日 (少) 警視庁見学
- 〃 二十五日 (団) 東京連盟主催ハイキング 於鎌倉江島
- 〃 二十七日 (年長) オーバーナイトハイク
- 四月七日 (団) 東京連盟主催 外国スカウト招待キャンプ  
フアイヤリ 於神宮外苑
- 五月三日 (少) ピクニック 於三ツ池
- 五月五日 (団) ガーデンパーティー参加 於新橋御苑
- 六月十六日 (少) 二周年祝会 於教会
- 七月七日 (少) 米國カブスカウトと交歓於自民アイリカンスクール
- 七月十三日 (長) シーリフト交歓スカウトとして高橋第一  
君渡米
- 七月三十日 (少) キャンプ 於山中野呂場
- 八月三十一日 (年長) 才回日本シジャンボリー 於整井沢
- 九月三十日 (団) 東京連盟主催 〇〇年大東京祭り前夜祭  
於日比谷公園
- 十月十四日 (少) 山手地区カブラリー 於多摩川台公園
- 十一月三日 (少) 東京連盟主催カブピクニック 於市川園軒
- 十一月二十三日 (長) 一周年祝会 於教会
- 十二月二十六日 (団) 合同クリスマス祝会 於教会
- 昭和三十一年  
三月九日 (団) 国連記念パレード 於日比谷銀座築地

(少) 年少隊 (年) 少年隊 (長) 年長隊

- 三月二十九日 (少) 東京連盟主催大島ハイク 於大島
- 四月二十九日 (団) 十周年記念式典祝会 於教会
- 五月三日 (団) 〃 バスピクニックガールスカウト主催  
於西武園
- 六月八日 (少) 三周年祝会 於教会
- 八月 (長) キャンプ 於茅ヶ崎
- 〃 二日、五日 (年長) 関東キャンボリー 於船子大吹崎
- 〃 十九日、二十日 (少) キャンプ 於箱根小涌谷
- 〃 二十五、二十六日 (長) 移動キャンプ 於雲取山
- 九月三十日 (団) 東京祭り前夜祭
- 〃 二十日 (長) 二周年祝会 於教会
- 十月十日 (少) 東京連盟主催バスピクニック 於横浜港
- 〃 二十日 (年長) 〃 オーバーナイトハイク
- 昭和三十三年
- 一月三日 (団) 新春パレード 於隅田公園
- 二月一日 (団) 父兄総会 於教会
- 二月二十日 (団) 十一周年記念
- 三月三十日 (長) オーバーナイトハイク
- 四月三十日 (団) 山手地区ラリー 於武蔵工大グラウンド
- 四月二十九日 (団) 合同バスピクニックガールスカウト主催  
於分洋海岸
- 五月四日 (団) ガーデンパーティー 於都体育館
- 〃 二十四、六月一日 (年長) アジア競夜大会奉仕  
於国立競技場
- 六月七日 (団) 映画会 於天野会館
- 〃 二十二日 (少) 四周年祝会 於教会
- 七月 (長) シニア誕生
- 七月二十六、三十日 (長) キャンプ 於茅ヶ崎
- 〃 二十八、三十日 (少) キャンプ 於日光鶴巻
- 八月十二、十八日 (長) シニア班キャンプ 於崎玉向久原

スカウト活動を行う上に、B.P.の生涯を知る事は大切であるが、幸いに四月からの進級課目の改正で、坂入隊の時に学ぶ事になりました。前号の少年時代に読きB.P.の軍隊時代の話をとってみましょう。

一八七六年叙が十九才の時、サマ

### ベーデンパウエルのあゆみ (その二) 今田 富士雄

一ターハウスを卒業し、大学入学を希望していましたが、七月の陸軍特別士官採用試験に優秀な成績で通りましたので、すぐに少尉として、騎兵十三連隊と共に印度のリユクナウに赴任しました。

倉しい下級士官の生活に補うために、本國の新報に寄稿してその画才と文才を認められ、母には詳細は活日記を送りました。

一八八四年、連隊と共にアフリカのナタールに移転し、調査や謀報勤務にあたり、偵候術に勤めました。又ズール族の習俗を調査し、求用人の中

にある高いモラルや若者に対する訓練方法等、研究しました。(スカウト教育の資料に付って居ります。)

次に彼は一エ王の叛乱の時、土人軍の司令官として、工兵隊を率へてスカウト教育の開拓に乗り入れて居ります。

一八九六年にはマタベルランド遠征隊に加わりましたが、この頃が彼の軍事的スカウティングの完成期です。

一八九七年、龍騎兵五連隊の司令官として、印度ミールトに赴任し、下士官の偵候術の教育用講義録を「偵候術の手引」として一八九九年に出版しました。

これは彼が帰國した時、英國內の各学校で觀察推理判断の教材として使われて居りました。そこで彼は偵候術が教育的価値のあるものならば、これを少年のゲームに採用し、さらに教育的に組織し、少年達の要求を満す為、平和な公民教育の方策として、少年のための偵候術を計画し、その案を各方面に配布し、批判を乞いま

した。 (局長 々々)

### ◎育成会(父兄)總會開催

年度末開催される父兄總會が、次の通り決定されました。

日時 昭和三十六年三月二十四日 午後六時半 (金)

会場 豊前坂政会階下講堂  
内容 庶務 財務報告  
団委員長  
シマンポリー映画  
その他

なお、總會後、父兄会を隊各に行います。

### ◎登録の更新

昭和三十六年度の登録更新期となりました。登録費一〇〇円を隊の会計まで納入下さい。

# 報告と行事予定

## ◎日赤救急講習会

去る二月十一日より荒木先生に主任講師として行われた。これにはガールスカウトも同席、ホーイスカウトも乗車一五六回のスカウトも参加しました。

## ◎十四周年

### 祝会

ホーイスカウト東京オ四年は、経年十周年を迎え、少年隊を主体として祝会が去る二月二十五日に行われました。

## ◎今田年長隊長結婚約

去る二月二十二日(ホーイスカウト創始者デーデンパウエル誕生日、本団誕生日)にガールスカウトオ四年上級スカウトリーダー田中重江さんと愛南聖公会にて婚約された。おめでとございます。

## ◎バスピクニック

恒例のガールスカウトオ四年と女性のバスピクニックの通り予定しております。御父兄の参加を希望いたします。  
四月二十九日(祭)

## ◎大島ハイク

ホーイスカウト東京連盟主催の大島めぐりハイキングが次の通り決定され、少年隊、年長隊は参加する予定です。

日時(昭和三十六年)三月三十一日 四月一日

## ◎カブ舎管内定

年少隊夏季会営(キヤンプ)が次の通り内定しました。ただし、下検分の後、決定します。

日時 (昭和三十六年)七月三十一日〜二十四日又は二十八日〜三十一日  
場所 秩父ユースホステル(三峰)

# 編集後記

スマイル、スマイルと思いがちにも思うにまかせず、前号より一年経過してしまいました。念願の十周年以後のスカウトの歩みについて簡略ですがまとめることができませんでした。資料を要領して補充して下さった安積、高橋副長に感謝いたします。充分に注意して照合した積りですがお気づきのことがありましたら編集人までお知らせ下さい。また原稿の御協力を得ました岸本先生、今田飯田隊長に厚くお礼申し上げます。みなさんにかわいがって頂き、よい校閲版にしてゆきたいと思っております。原稿、希望などなどしとしと寄せ下さるようお願いたします。

◎田中国委員長 山手地区副商談会長に再選  
三月十七日開催の山手地区助談会に於いて田中国委員長は、満場一致で再選されました。